学校番号	1202

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	２、３年次
使用教科書	「地理Ａ」　（東京書籍）						
副教材等	「標準高等地図－地図でよむ現代社会－」（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代世界が抱えている諸課題を地理的に考察する学習では、たくさんの情報の中から的確な資料を取捨選択し、それらを読み解く力が必要です。
各地域により異なる課題の解決には、地域性を踏まえて取り組むとともに、国を越えての国際協力がますます必要です。授業以外でも、ニュースを聞く、新聞を読む、ドキュメンタリーを見ることを通して情報として蓄積していく努力もしましょう。

２　学習の到達目標

・現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養う。
・地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・現代世界の地理的事象を主な対象とし、現代世界が取り組んでいる諸課題に興味関心を抱き、身の回りにある地図を取り上げた学習や、生活圏の地域調査など日常生活との関連を積極的に位置づけ、結びつけることができる。 ・地理学習の意義を積極的に見出し、そこで得た知識・技能を日常生活や現代的諸課題の解決に生かすことができる。	・地理的事象にはどのような空間的な規則性や傾向性がみられるのか、地理的事象を距離や空間的な配置に留意し表現することができる。 ・現代世界が抱える諸課題を発見し、地域性を踏まえた取組や国際協力による解決策を多角的に追求し、環境・人権・平和の観点から良い社会の在り方を提言することができる。	・様々な資料を収集し、地理的事象を読み取るのに必要なものを取捨選択し、調査・分析することができる。 ・統計やグラフの分析、地域の環境条件や他地域との結び付きなどと人間の営みとのかかわりなどに着目して追究した地理情報を論理的に分析・解釈し、レポートなどにまとめることができる。	・地理的事象や地域性、現代的諸課題の分析や考察に必要な基礎的知識(用語･地名など)や基本的概念(空間、環境、地域)を身につけている。 ・防災に関する学習、生活圏の地域調査など日常生活と関連した学習を通じて、地域で日常生活を営む上で必要な基礎的知識や基本的概念、地理的見方や考え方を身につけている。
評価方法	授業の取り組みを観察 発問に対して意欲的に取り組んでいるかを評価 ワークシートの取り組み状況を評価	授業の取り組みを観察 発問に対して、自らあるいは他者と協力して思考し表現しているかを評価 定期考査 ワークシート内における表現を評価	授業の取り組みを観察 ワークシート等でグラフや地図帳等を適切に活用しているかを評価 定期考査	授業の取り組みを観察 定期考査 ワークシートの取り組み状況を評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代世界の特徴と動向	・地球儀と世界地図から、水陸分布、大陸間の方位、距離、位置関係、を考察する。 ・国家の三要素と国境の概念、日本の地理的位置と領域について考察する。	○ 	○ ○	○ ○	○ ○	a:地球儀と数種の世界地図に関心を持ち、それらを意欲的に追究している。 b:国家と領域、日本の領土について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的に考察し、適切に表現している。 c:さまざまな図法の地図をから、位置や時差、日本の位置と領域などを読み取ることができる。 d:図法の特色、日本の位置と領域についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。	授業内取組 観察 発問評価 ワークシート 定期考査 使用活用
	結びつく現代世界	・冷戦期、それ以降に結成されたさまざまな国家群の特徴、その結成の背景について、当時の国際情勢との関わりから考察する。 ・貿易で結びつく世界 ・交通・通信の発達と世界の一体化	 ○ ○	○ 	○ ○ ○	○ 	a:交通・通信の発達と世界の一体化に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究しようとしている。 b:現代の国家群、新しい結びつきを求める現代世界について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:貿易の変化に関する地図や統計・画像などの諸資料から有用な情報を読み取ることができる。 d:国家群の変化についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	授業内取組 観察 発問評価 ワークシート 定期考査 資料活用
	世界の生活・文化の多様性	(1)生活の舞台としての地形 ・ 変動帯と安定大陸の地形と生活 ・河川・海岸の地形と生活	 ○ ○	 ○	 ○ ○	 ○ 	a: 人間生活に大きな影響を与える気候に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究しようとしている。 b: 地域性や日常生活との関連を多面的に考察できる。 c: 変動帯と安定大陸、河川・海岸に関する地図を読み取ることができる。 d: 変動帯と安定大陸、河川・海岸の地形と生活の基本的な事柄を理解している。	授業内取組 観察 発問評価 ワークシート 定期考査 資料活用

2 学 期	自然環境と文化	(2)生活の舞台としての気候 ・大気の大循環と地域による気候の違い ・世界の気候と植生 熱帯・乾燥帯・温帯・冷帯・寒帯・高山気候の特徴と人々の生活	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:意欲的に取り組む。 b:世界の気候と植生、各気候帯について、地域性や日常生活との関連を多面的・多角的に考察し、表現できる。 c:大気の大循環、世界の気候と植生、世界の気候環境と地図や統計・画像などの諸資料から、有用な情報を選択して読み取ることができる。 d:世界の気候環境と生活について基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	授業内取組 観察 発問評価 ワークシート 定期考査 資料活用
	諸地域の生活・文化と環境	・　東アジア ・　東南アジア ・　南アジア ・　西アジア・北アフリカ ・　サハラ以南アフリカ ・　ヨーロッパ ・　ロシア ・　北アメリカ ・　中部・南アメリカ	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:生活・文化と環境に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:多様な自然環境と生活・文化、統合への歩みや共通性について、地域性や歴史的背景を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:工業化、都市化と人々の暮らしの変化や、都市・農村の人々の暮らしの変化、自然環境と歴史・民族，統合への歩み、文化の多様性に関する地図や統などの諸資料から有用な情報を読み取ることができる。 d:各地域の成長と生活・文化の変化についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。	授業内取組 観察 発問評価 ワークシート 定期考査 資料活用
3 学 期	深刻化する地球的課題とその解決策	・世界の資源 ・エネルギー問題 ・世界の人口問題 ・世界の食料問題 ・世界の都市問題 ・世界の環境問題	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究しようとしている。 b:地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化を多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 c:諸問題を示す地図や統計などの諸資料から情報を選択して、読み取ることができる。 d:それぞれの問題について、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。	授業内取組 観察 発問評価 ワークシート 定期考査 資料活用

3 学 期	身近な地域と地理的課題	・身近な地域と地図 ・自然環境と防災 ・生活圏の地理的な諸課題と地域調査	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:自然災害と防災に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 b:日本列島の地形や気候と自然災害について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:多様化する地図表現，情報通信技術を使った新しい地図表現を理解できる。 d:さまざまな地図とその活用について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。	授業内取組 観察 発問評価 ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料の活用の技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。